

会議等結果報告書			
会議区分	会議 ・ 打合せ ・ 協議	文書番号	177
		決裁期日	令和2年8月31日
名称	第2回上富良野町協働のまちづくり推進委員会		
日時	令和2年8月25日（火） 午後6時30分～午後7時30分		
場所	役場3階 第2会議室		
出席者	協働のまちづくり推進委員8人（別紙名簿のとおり） 事務局：町民生活課 星野課長、自治推進班 新井主幹、佐藤根主事 合計11名		

◎会長あいさつ

本日はお集まりいただき感謝申し上げます。第2回目の協働のまちづくり推進委員会ということでご協議いただきたい。

[進行：前田会長]

1 議題

(1) 上富良野町協働のまちづくり推進補助金について

事務局（新井主幹）より資料1-1～1-7に基づき一括で説明し、事務局から提案事項を説明。

【事務局案】

- ・事業実施のための費用の補助率を4年目60%（現行50%）に変更
- ・公共施設整備・維持管理用資機材購入費用の補助期間をなし（現行3年）に変更
- ・補助対象経費と補助対象額の一部文言を変更
- ・需用費の外部講師及び外部協力者の弁当は1食800円（現行1日800円）を限度に変更

前田会長：今年度の補助金の経過はどうか。

新井主幹：昨年行われたようなイベントは感染症の影響で実施が難しく、現在まで申請が来ていない状況である。住民会からは物品の購入等で数件申請がある。

広瀬委員：補助期間について、例えば昨年まで3年間事業を実施しており、今年度はコロナの影響で実施しなかった場合、来年度が4年目と数えることができるのか

新井主幹：今年度分は補助期間として数えず、来年度が4年目となる。

柴田委員：対象事業について、補助金を使ってこんな事業ができるといった例を盛り入れるとわかりやすいのではないかと。

新井主幹：町民の方に周知する際にはわかりやすく例を入れるなどの方法もある。

前田会長：補助期間は5年等定めがあるが、補助限度額は5年で20万円ということか

新井主幹：単年毎に補助限度額20万円となっている。毎年限度額の20万円を補助したとすると5年で100万円の補助金がもらえることとなる。

(2) まちづくりフォーラムについて

事務局（新井主幹）より説明。今年度は感染症の状況もあり、例年のようなグループワーク等向き合って話し合う形式は難しく、人数を集めての講演会も行うかどうかを委員の皆様のご意見をいただきたい。

吉河委員：社会福祉協議会では社会福祉大会を130人規模で予定している。大会の時間は表彰関係を1時間、休憩時間があり、その後講演会を1時間行う。コロナ対策について、会場に誰が入ってきたかを名簿でおさえるなど考えている。社会福祉協議会ではふれあい昼食会という事業も行っており、高齢者が集まり7・8月は食事なしで行った。町の文化祭も今年度は3か所に分けて開催するそうで、かむかむしちやいな祭も開催するとの話も聞いている。まちづくりフォーラムも、例年2回開催しているところ1回開催にする、インフルエンザが流行る冬を避け早い時期に開催する、時間を短くして飛沫防止対策をするなどし、実施する方法を何か考えられたらと思う。

前田会長：やる側の責任もあるので、慎重に行わなければならない。

森本委員：観光や自然、たとえば十勝岳は何メートルかなど、家族でできるようなクイズはどうか。冊子にして全部回答したら参加賞をだし、100%当たったら温泉の入浴券が景品で当たる等、外にでなくても楽しめるようなことはできないか。

前田会長：方法として、対象を小学生や高齢者に限定することや、テーマを観光や産業に特定することもできる。

森本委員：上富良野町のことを知ってもらうのは子供のほうが良いかもしれない。

新井主幹：他の自治体で取り組まれているもので「ご当地検定」がある。

前田会長：何か参考にできるものがあればそれを上富良野版にしても良いのではないか。

柴田委員：この状況下で何を準備してどのように活動したらいいか知る機会がほしい。子どもや高齢者、商売を営んでいる人に対して、こういうことに気をつけてくださいといったパンフレットが上富良野があればいいと思う。

茶谷委員：商工会では、上富良野町の飲食店についての紹介のチラシを8月から月に1回だしていくこととなった。「おうちでグルメ」の反響が大きく、目に見える形でお店の周知を行ったことで町内の飲食店について知らない町民もいるなか、認知度があがった。現時点でお客さんがきていなくても、今後来てくれるようにしていかなければならないという話をしており、まちづくりフォーラムにおいても、何か講演会を開催しても来る人が限られてくるため、町のことを知ってもらう目的であれば配布物で周知することで飲食店の認知は広がるのではないか。

前田委員：広報に載っている上富良野10大ニュースの協働版のような形で載せるなどできないか。

小川委員：住民会も行事のほとんどが中止になり連絡事項も文書で終わっている。最大限の注意を図りながら何か活動をしていかなければならない。

前田会長：今年度のまちづくりフォーラムは講演会の開催ではなく、配布物等で上富良野町のことを知ってもらうことで進めていきたい。実現可能かどうかも含めて事務局に検討してもらいたいような形にする。

(3) 協働のまちづくりパンフレットについて

事務局（新井主幹）より説明。2案のうち、「らべとん」のデザインで進める流れとなった。

広瀬委員：表紙の「らべとん」が困った顔をしているので、明るいイメージに変えたら良いのではないか。

柴田委員：推進補助金を使ったらこんなことができるといった例をのせたら良いのではないか。

森本委員：表紙の字が薄いので濃くすると見やすいのではないか。

前田会長：イラスト等を変えて作成してもらうよう事務局にお願いする。

(4) その他

① 今年度の協議事項について

柴田委員より協働のまちづくり基本指針の見直しについて意見があり、指針作成から10年経過しており協働の事例等の内容が古いため、期限は設けず更新することとした。

2 その他

次回会議について

次回会議については事務局の準備ができしだい、各委員に日程調整の連絡をする。

【会議録は決裁終了後、行政ホームページに公開】